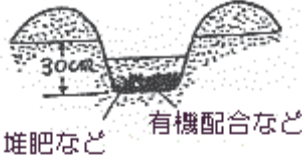


トマト

～ 元肥入れ ～



植付けの20～30日前に畝の中央に深めに。

トマトの元肥・追肥の上手な施し方

【方法】元肥は畝の中央に大き目の溝を掘り、植付けの20～30日前に、良質の堆肥を主体に油粕の入った有機配合飼料を与えます。

実がつき肥大を確認するまでは追肥を見合わせ、確実に着果させます。

着果し1～2果が径4～5cmになったとき、化成肥料と油粕などを追肥します。株元から20cm離れたところに、軽く溝をほりその中へばらまき、土を柔らかくしながら畝に寄せ覆土します。

～ 追肥 ～

肥大し始めるまで待つ



第1花房の1～2番花が径4～5cmになったとき、化成肥料、油粕を施し、土と混ぜて畝へ上げる。後は15～20日おきに2～3回追肥する。

その後、15～20日おきに2～3回ぐらい、次第に株元から離れた位置に、軽く溝を掘り、軽くクワで土に混ぜ込むようにして追肥します。

1回に与える量は、1株当たり油粕大さじ4～5杯、化成肥料3杯ぐらいとし、葉色と果実の肥大、なり具合により調整します。

梅雨時期に追肥すると、窒素の過剰吸収により茎葉が軟弱になり、果実に尻腐れなどが発生しやすいので避けてください。

